

(Science course)

北海道大学サマーインスティテュート2016 [G56]
(大学院共通授業科目[101531]・集中講義・1単位)

Service Design Workshop with Lapland University “北欧型サービスデザイン”ワークショップ

- 日程 2016年8月29日(月)～31日(水) →
- 教室 高等教育推進機構S棟 (S5教室)
- 対象 修士課程、博士後期課程 (教員も可)
- 定員 25名

Aug. 2016	29	30	31
10:30-12:00		✓	✓
13:00-14:30	✓	✓	✓
14:45-16:15	✓	✓	✓

■ 履修・受講申込方法

(A)大学院共通授業科目[101531] (1単位)として履修希望の大学院生は、所属大学院・専攻、学年、学生番号、氏名、連絡先Eメールを、(B)教員は、所属部局、氏名、連絡先Eメールを明記し、下記Eメールまで申し込んでください。

Application Email: active-learning@mail.sci.hokudai.ac.jp

■ 申込期限：2016年7月29日 (金)

申込者には、後日受講案内メールをお送りします。

Keyword:

service design
active learning
innovation
課題解決手法
デザイン思考
理系分野横断
PBL
少人数グループ学習

This class will introduce in a compact form the key elements, ideology and methods of service design to participants. They will learn through a concrete case and quick method experiments how service design works in practice. The aim of service design is to make services more usable, efficient and better for users as well as for service providers.

授業の目標 デザイン思考はビジネスイシュー、ソーシャルイシュー、双方に共通した課題解決の手法として世界的に注目され、企業、自治体、ソーシャルセクターが活用を始めている。この授業では、先進的な教育体制を持つフィンランド・ラップランド大学サービスデザイン学科、及び国内のグロービス経営大学院からそれぞれ講師を招へいし、若手研究者が他分野と協働して、「専門+a」のスキルアップするとともに、世界的にも先進的なデザイン思考法を実践的に身につけることができる。

講師のミエッティネン氏は、7月まで1年間、イノベーション教育で有名なスタンフォード大学に招聘教授として滞在し、最新の教育・実践の知見を持つ。また、グロービス経営学院は日本最大のMBAスクール。これら大学院と北大が協働し、北欧型の長所を生かした課題解決の手法を学ぶ。



■ Satu Miettinen

Professor
University of Lapland



■ Shinichiro Kawakami

Associate Professor
Faculty Director of Marketing/Entrepreneurship, Globis University
Graduate School of Management



■ Makoto Demura

Professor
Faculty of Advanced Life Science, Hokkaido University



■ Miho Namba

Associate Professor
Globis University Graduate School of Management



■ Migaku Oda

Professor
Faculty of Science, Hokkaido University

